

文部科学省・宇宙航空人材育成プログラム
「長期宇宙滞在者を食と運動で支える“宇宙専門管理栄養士/理学療法士”の育成」

宇宙栄養研究センター 特別講義

演題：筋萎縮とは何だろうか；

微小重力による筋萎縮とサルコペニア

講師：国立研究開発法人

国立精神・神経医療研究センター 産学連携顧問

同センター 神経研究所 名誉所長

武田 伸一 先生

日時：2022年12月21日（水）16:30～18:00

場所：医学部基礎第一講義室

筋線維は、速筋線維と遅筋線維に分けることができるが、広い意味では、廃用性萎縮に含まれる微小重力による筋萎縮は、主として遅筋線維に、大きな社会問題となっている加齢に伴うサルコペニアは、主として速筋線維に生ずることが知られている。両者の背景として、神経系、神経筋接合部をはじめとして、筋小胞体、ミトコンドリアなどの細胞内小器官、タンパク質合成系、ユビキチン・プロテアソームなどのタンパク質分解系やneuronal Nitric Oxide synthase (nNOS)などが関与することが知られている。そこで、筋線維の分類から出発して、筋萎縮の背景となる分子機構についてお話ししたい。

これまで経験してきたSTS-90（ニューロラボ）や、JAXAによる小動ミッションについても、触れたい。

本講義は、大学院医学研究科、医科栄養学研究科、口腔科学研究科の大学院特別講義を兼ねています。

多くの先生方、大学院生、学部学生、興味をお持ちのすべての方々のご来聴を歓迎致します。

連絡先：生体栄養学分野 二川 健（内線：9248）